Polycom®
CX500/CX600/CX3000 IP 電話機 ユーザーガイド

Microsoft® Lync™ 2010 Edition

2010 年 12 月 | 1725-44328-002 Rev.A

商標情報

POLYCOM®、Polycom の「三角形」のロゴ、Polycom 製品に関連付けられている名前とマークは、Polycom, Inc. の商標またはサービスマーク、あるいはその両方であり、米国およびその他の国における登録商標またはコモンロー上のマーク、あるいはその両方です。その他すべての商標は、それぞれの会社が所有しています。Polycom の書面による許可がある場合を除いて、このドキュメントのいかなる部分も個人的使用以外の目的で複製または送信することはその形式および方法を問わず禁止されています。

特許情報

付随製品は、アメリカおよび諸外国の 1 つ以上の特許権によって保護されているか、Polycom, Inc. による特許申請中として保護されています。

© 2010 Polycom, Inc. All rights reserved.

Polycom, Inc.
4750 Willow Road
Pleasanton, CA 94588-2708
USA

この文書のいかなる部分も、Polycom, Inc. の明白な許可なしに、いかなる目的でも、電気的または機械的などのいかなる手段でも、複製または転送することを禁じます。法律の下においては、他の言語への翻訳および他のフォーマットへの変換も複製と見なされます。

当事者間で、Polycom, Inc. は、この製品に含まれるソフトウェアに関するすべてのタイトル、所有権、占有権を保有します。このソフトウェアは、アメリカの著作権および国際条約規定によって保護されています。このため、このソフトウェアは、他の著作権がある物件 (例 : 本または録音物) と同様に取り扱う必要があります。

このマニュアルに含まれる情報の正確性を期すために、あらゆる努力を傾注しました。Polycom, Inc. は印刷エラーまたは事務的エラーには責任を一切負いません。この文書中の情報は、予告なしに変更することがあります。

この文書は「現状のまま」提供されます。URL やその他のインターネット Web サイトの参照など、この文書に記載されている情報およびビューは、予告なしに変更することがあります。使用により生じる一切のリスクはお客様の負担になります。

© 2010 Microsoft. All Rights Reserved.

目次

Polycom® CX500/CX600/CX3000 IP 電話機ユーザーガイド . . 1

通話の発信 2
連絡先カードの表示 4
通話の受信 5
通話コントロールの使用 5
通話の履歴の表示 6
ボイスメールの確認 7
複数の通話の管理 7
通話から会議通話への拡大 9
通話の転送 10
予定表の会議への参加 12
電話機の設定とヘルプへのアクセス 13
電話機のリセット 14

安全に関する通知 15

Polycom® CX500/CX600/CX3000 IP 電話機ユーザーガイド

Microsoft® Lync™ 2010 Phone Edition 通信ソフトウェアの新しい世界へようこそ。Lync 2010 Phone Edition には、従来の電話機では使用できない音声による通信機能が装備されています。たとえば、Lync Phone Edition を使用すると、通話の履歴の表示、会議への参加、VoIP を使用した通話を行うことができます。つまり、現在の一般的な電話機よりも多くの機能を利用できます。

このガイドでは、次の電話機を使用した Lync Phone Edition の使用方法について説明します。

- Polycom® CX500 IP Common Area/Lobby Phone

  この電話機の詳細については、
  http://www.polycom.com/support/voice/cx/communicator_cx500.html
  を参照してください。

- Polycom® CX600 IP Knowledge/Information Worker Phone

  この電話機の詳細については、
  http://www.polycom.com/support/voice/cx/communicator_cx600.html
  を参照してください。

- Polycom® CX3000 IP Conference Phone

  この電話機の詳細については、
  http://www.polycom.com/support/voice/cx/cx3000.html を参照してください。

このガイドでは、電話機を使用して、次の操作を実行する方法について説明します。

- 通話の発信
- 連絡先カードの表示
- 通話の受信
- 通話コントロールの使用
- 通話の履歴の表示
- ボイスメールの確認
- 複数の通話の管理
- 通話から会議通話への拡大
- 通話の転送
- 予定表の会議への参加

- 電話機の設定とヘルプへのアクセス
- 電話機のリセット

通話の発信

通話を発信するには、ハンドセットを取ってダイヤルする一般的な方法のほかに、次の方法があります。

- 電話機の [連絡先] 画面から発信する
- キーパッドで連絡先を検索して発信する
- コンピュータ上の Microsoft® Lync™ 2010 から発信する

電話機がロックされている場合は、ロックを解除してから通話を発信する必要があります。ロックを解除するには、[ロック解除] を選択します。

電話機の [連絡先] 画面から発信するには、次の操作を行います。

1 電話機のホーム画面で、**[連絡先]** アイコンを選択してから、ユーザーが含まれている連絡先グループを選択します。

2 [連絡先] 画面で、電話機の上矢印と下矢印のボタン を使用し、連絡先を選択してから **[通話]** を選択します。

キーパッドで連絡先を検索して発信するには、次の操作を行います。

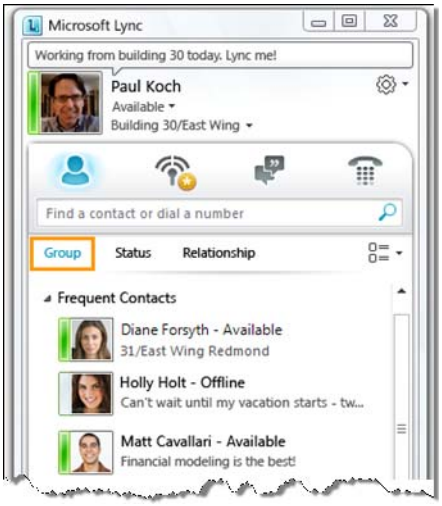
1 電話機のキーパッドで、連絡先名または内線番号に対応する数字を押します。たとえば、'Tony Smith' を探すには、最初に 8669*76484 と押します。'*' は姓と名の間のスペースです。

2 発信する連絡先が見つかったら、**[通話]** を選択します。

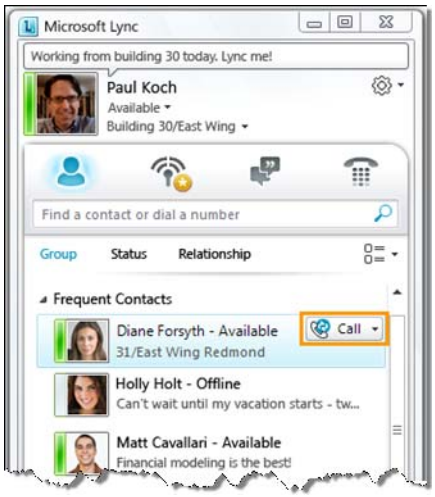
コンピュータ上で Lync 2010 から発信するには、次の操作を行います。

1 電話機とコンピュータを接続するオプションの USB ケーブルが取り付けられていることを確認します。

2 コンピュータ上で Lync 2010 を開きます。Microsoft Lync のメインウィンドウで、**[グループ]** をクリックし、連絡先が含まれているグループをクリックします。



3 通話する連絡先の横の **[通話]** ボタンをクリックします。



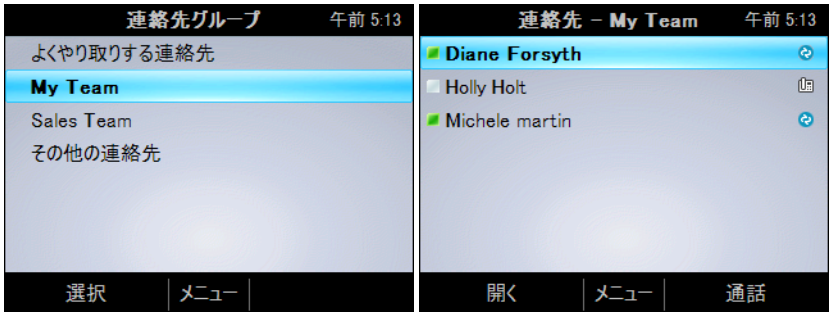
連絡先カードの表示

連絡先カードでは、連絡先の都合とプレゼンスに関する詳細が提供されます。連絡先から許可されているアクセスレベルに応じて、連絡先の電話番号、スケジュール情報、最近の通話の電話番号、および個人的なメモ (連絡先によって書き込まれている場合) を表示できます。

連絡先カードを表示するには、次の操作を行います。

1 電話機のホーム画面で、**[連絡先]** アイコンを選択します。

2 **[連絡先グループ]** 画面で、連絡先が含まれているグループを選択してから、連絡先名を選択します。



3 連絡先カードの表示を終了する場合は、**[閉じる]** を選択します。

通話の受信

通話に応答するか、通話をボイスメールに転送できます。

着信した通話を処理するには、次の手順に従います。

>> **[着信通話]** 画面で、次のいずれかの操作を行います。

– 通話に応答するには、**[応答]** を選択するか、ハンドセットを取ります。

または

– 発信者を直接ボイスメールに送信するには、**[ボイスメールに転送]** を選択します。

通話コントロールの使用

以下で説明するボタンと機能には、お使いの電話機では使用できないものがある場合があります。

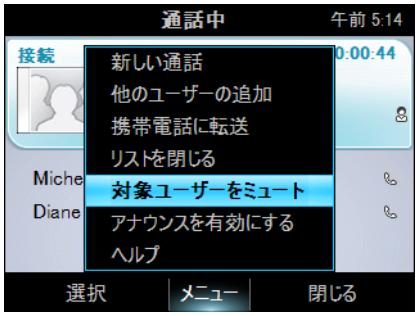
次の操作を行うには、電話機のボタンを使用します。

- 通話中にスピーカホンを有効または無効にするには、 を押します。
- ハンドセット、スピーカホン、ヘッドセットスピーカ、および呼び出し (通話中でない場合) の音量を調整するには、 を押します。
- 通話中に他者から聞こえないようにローカルの音声をミュートするには、 を押します。

- ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカホンで音声を受信するには、電話機とコンピュータを接続するオプションの USB ケーブルを取り付ける必要があります。
- 通話中にスピーカホンの音量を調整すると、スピーカホンを使用するその後のすべての通話にその音量設定が適用されます。

会議通話中に自分以外の音声をミュートするには、次の操作を行います。

>> **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[対象ユーザーをミュート]** を選択します。



通話の履歴の表示

[通話ログ] 画面には、着信、発信、および不在着信の履歴が表示されます。

通話の履歴を表示するには、次の操作を行います。

1 電話機のホーム画面で、**[通話ログ]** アイコンを選択します。

2 **[すべての通話]** 画面で、**[メニュー]** を選択して通話をソートします。

ボイスメールの確認

組織でボイスメールを有効すると、ボイスメールにアクセスしてメッセージを確認したりボイスメールの挨拶を変更したりできます。不在着信メッセージがあると、**[ボイスメール]** アイコンにメッセージの数を示す数字が表示され、電話機の右上隅に赤いライトが点灯します。

ボイスメールを確認するには、次の操作を行います。

>> 電話機のホーム画面で、**[ボイスメール]** アイコンを選択します。

[ボイスメール] 画面には、通話の電話番号とメッセージの日時が表示されます。個人の連絡先または企業ディレクトリにリストされている連絡先である場合、送信者の名前と連絡先カードも表示されます。

複数の通話の管理

通話中の場合、使用できるいくつかの通話コントロールを表示して、複数の通話を管理します。

通話を保留するには、次の操作を行います。

>> **[通話中]** 画面で、**[保留]** を選択します。

アクティブな通話中に次の通話に応答するには、次の操作を行います。

>> **[着信通話]** 画面で、**[応答]** を選択します。現在の通話が保留状態になり、次の通話に応答できます。

通話を切り替えるには、次の操作を行います。

1 電話機の **[ホーム]** ボタン を押してから **[アクティブな通話]** を選択します。

2 **[通話中]** 画面で、上矢印と下矢印のボタン を使用して、アクティブにする通話を選択してから **[再開]** を選択します。

新しい通話を発信して、現在の通話を保留状態にするには、次の操作を行います。

1 **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[新しい通話]** を選択します。現在の通話は保留状態になります。

2 電話番号を入力するか、連絡先を選択してから **[通話]** を選択します。

通話を終了するには、次の操作を行います。

>> **[通話中]** 画面で、**[終了]** を選択します。

通話から会議通話への拡大

通話中に会議通話を開始して、複数の参加者を追加できます。

通話を会議通話に拡大するには、次の操作を行います。

1 **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[他のユーザーの追加]** を選択します。

2 参加者を追加するには、電話番号を入力するか、連絡先を選択してから **[追加]** を選択します。複数の参加者を追加するには、この手順を繰り返します。

通話の転送

通話の転送には、次の方法があります。

- 別の人への転送。相手と会話しないで直接転送するか、相手と先に話してから転送する。
- パーキングへ転送。通話を保留状態にして、別の人が応答できるようにする。
- 自分の携帯電話への転送。

通話を別の人に直接転送するには、次の操作を行います。

1 **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[直接転送]** を選択します。

2 番号を入力するか、連絡先を選択してから **[通話]** を選択します。

通話を転送する前に確認するには、次の操作を行います。

1 **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[確認して転送]** を選択します。

2 番号を入力するか、連絡先を選択します。転送先の相手と話してから **[転送完了]** を選択します。

通話をパーキングに転送するには、次の操作を行います。

1 **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[パーキングに転送]** を選択します。通話が保留状態になります。

通話を再開する通話の番号を示す通知が表示されます。

2 通話に応答するチームに連絡して、通知の番号を知らせます。

通話を携帯電話に転送するには、次の操作を行います。

>> **[通話中]** 画面で、**[メニュー]** を選択してから **[携帯電話に転送]** を選択します。

予定表の会議への参加

予定表には、現在の日付の Microsoft® Outlook® の予定が表示されます。電話機を使用して会議に参加できます。

Online Meeting Add-In for Lync 2010 を使用して作成された Lync 2010 オンライン会議にのみ参加できます。

会議に参加するには、次の操作を行います。

1 電話機のホーム画面で、**[予定表]** アイコンを選択します。

2 **[今日の予定表]** 画面で、参加する会議を選択してから **[参加]** を選択します。

電話機の設定とヘルプへのアクセス

[ヘルプ] にアクセスすると、電話機で次の設定を行うことができます。

- 音量
- 輝度
- ログ
- 電話の場所
- テスト呼び出しの実行
- 着信音
- 電話ロック解除 PIN
- タイムゾーン
- 日付の形式
- 時間の形式
- 言語
- ハイ コントラスト
- テキスト テレフォニー (TTY)
- 悪意のある通話の追跡

上記の設定には、お使いの電話機で使用できないものがある場合もあります。

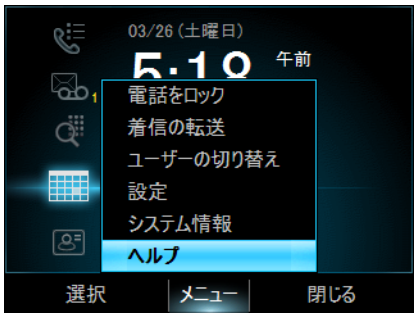
[設定] メニューにアクセスするには、次の操作を行います。

1 電話機のホーム画面で、**[メニュー]** を選択してから **[設定]** を選択します。

2 **[設定]** 画面で、変更する設定を選択します。

電話機の一般的なヘルプにアクセスするには、次の操作を行います。

>> 電話機のホーム画面で、**[メニュー]** を選択してから **[ヘルプ]** を選択します。



特定の画面のコンテキストを区別するヘルプにアクセスするには、次の操作を行います。

>> 現在の画面で、**[メニュー]** を選択してから **[ヘルプ]** を選択します。

電話機のリセット

電話機の動作が停止した場合、システム管理者から電話機をリセットするよう求められることがあります。

電話機をリセットするには、次の操作を行います。

>> * キーと # キーを押したまま、電話機の電源を切って接続し直します。

続行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。**[はい]** を選択します。

リセットプロセスには、最大 4 分かかることがあります。電話機がリセットされたら、ホーム画面が表示されます。

安全に関する通知

サービス規約
製品に適用されるサービス規約の詳細については、Polycom 正規販売店にお問い合わせください。

準拠法
この限定保証および責任の限定は、米国カリフォルニア州および米国の法律に準拠します。ただし、国際私法の原則は排除されます。「国際物品売買条約に関する国連条約」は、この限定保証および責任の限定に適用されないものとします。 国際および汎米著作権条約に基づき無断複写・転載を禁じます。Polycom, Inc の書面による同意なしに、本書の内容の全体または一部を複写、複製、送信、他言語に翻訳、または他形式に変換することは、その形式または方法を問わず、これを禁じます。ユーザーまたはその依頼を受けた第三者が、製品の識別情報、著作権表示、その他の通知を削除することは禁じられています。

限定責任
限定責任。法律の及ぶ限り、Polycom および供給者に対して契約や (過失を含む) 不法行為、あらゆる偶発的、必然的、間接的、特殊または懲罰的損害賠償金、収益または利益の損失、取引上の損失、情報またはデータの損失、販売に生起または関連したその他の経済的損失、製品のインストール、保守、利用、パフォーマンス、故障または障害において責任を負わないものとします。これは、Polycom および正規販売店が以上のような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Polycom の裁量により、修理、交換、購入金額の払い戻しをする責任を限定できることになります。損害への責任に対する免責条項は、この中で明記されたいかなる救済手段が本来の目的を達成できなかったとしても、何ら影響を与えるものではありません。

Polycom の限定保証および限定責任

製品限定保証。Polycom はエンドユーザー (顧客) に対し、Polycom または正規販売店から製品を購入した日付より 1 年間、通常の使用およびサービスにおいて本製品およびその材料に欠陥がないことを保証します。

Polycom はここで明示された保証に基づき、Polycom の選択と負担により、欠陥製品または部分を修理し、欠陥製品と交換するのに相当する製品または一部を顧客に発送する義務があります。いずれの選択も提供できない場合、Polycom は独自の裁量により、欠陥製品の購入金額を顧客に支払うものとします。交換される製品はすべて Polycom の所有となります。製品あるいは部品の交換には新品または再生部品が使用されます。

Polycom は、交換または修理した製品や部品について、発送日より 90 日間または最初の保証期間の残存期間のいずれか長い方の期間保証するものとします。Polycom に製品を返却する場合は、適切に梱包して運賃前払いで安全に返送する必要があり、保険付きまたは荷物の追跡が可能な方法で発送することを推奨します。Polycom は、返却した製品を受領するまでの過程で生じた損失や損害に対する責任は負いません。修理または交換する製品は Polycom が欠陥製品を受け取ってから 30 日の期間内に Polycom の負担で顧客に発送されます。製品の損害に対するリスクは、顧客の手元に届くまで Polycom が保持します。

免責事項

テストおよび検査の結果、製品の欠陥または故障が次の理由である場合、Polycom は上記の保証の制限に基づく責任を負わないものとします。

- Polycom のインストール、操作、保守の説明に従わなかった場合
- 不正に製品を変更または改変した場合
- 製品を通じて不正に専用線通信サービスへアクセスした場合
- 顧客および顧客の管理下にある個人の不正使用、悪用、過失行為、削除を行った場合
- サードパーティによる行為、天災、事故、火事、落雷、変電、停電、その他の被害にあった場合

保証の例外事項

Polycom の製品で上記に規定された保証が実施されなかった場合、顧客は保証の不履行について Polycom に製品の修理、交換、購入金額の払い戻しを請求することができます。法律の及ぶ限り、上記の保証および救済は限定的であり、明示または暗示されたその他の保証、条項、条件において、商品性の保証、条項、条件、いかなる目的に対する適合性、満足のゆく品質、保証内容との一致、無侵害性に代わるものとし、すべては明示的に放棄するものとします。Polycom は、製品の販売、インストール、保守、利用に関する法的責任を他者に負わせたり、委任したりすることはありません。

安全および準拠に関する情報

FCC 規制の第 15 部

この機器は、FCC 規制のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提とします。

1　この機器は有害な干渉を起こさない。

2　この装置は、誤動作の原因となる電波障害を含め、受信した電波障害を許容しなければならない。

クラス B デジタル機器または周辺機器

メモ : この装置は、FCC 規則の第 15 部に準拠してテストされ、クラス B デジタル機器制限に適合していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置する際に有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。この装置は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用するものであり、これを放射する可能性もあります。取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、無線通信に有害な電波障害を引き起こすおそれがあります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。この装置の電源のオン / オフを切り替えることにより、この装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害をもたらしていると判断される場合、ユーザーは電波障害を是正するために次の対策を講じてください。

1　受信アンテナの向きまたは位置を変えます。

2　この装置と受信機の距離を離します。

3　受信機が接続されているものと、別系統のコンセントにこの装置を接続します。

4　販売代理店または熟練のラジオ / テレビ技術者に相談します。

変更

FCC 規則のパート 15 に従い、Polycom Inc. による明示的な承認を受けずにこの装置に変更または修正を加えた場合、ユーザーはこの装置を操作する権利を失う可能性があります。この機器は、公衆電話または共同加入電話では使用できません。

設置手順

設置は、配線に関するあらゆる国内の関連規定に従って行う必要があります。

L'Installation doit être exécutée conformément à tous les règlements nationaux applicable au filage électrique.

パワーオーバーイーサネット (PoE) を使用する場合、装置は外部施設に接続しないで PoE ネットワークのみに接続します。

プラグによる機器の切断

この装置を接続するコンセントは、装置の近くにあり、常に使用できる状態になっている必要があります。

La prise électrique à laquelle l'appareil est branché doit être installée près de l'équipement et doit toujours être facilement accessible.

カナダ産業省 (IC)

このクラス [B] デジタル機器はカナダ ICES -003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CE および VCCI マーク

この Polycom CX500/600/3000 IP 電話機には、CE マークが付いています。このマークは、EC 指令 2006/95/EC と 2004/108/EC に準拠していることを示します。適合宣言の完全なコピーを取得するには、Polycom Ltd (270 Bath Road, Slough, Berkshire, SL1 4DX, UK) までお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）クラス Ｂ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

安全および準拠に関する情報 (続き)

電気保安に関する警告

感電を防止するために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が内蔵されています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートでは RJ-45 コネクタが使用されています。

Polycom CX500 および Polycom CX600 製品は定格 24Vdc、0.5A です。外部電源を使用する場合は、LPS 出力、定格 24V、最小 0.5A と表示された電源装置を使用してください。

Polycom CX3000 製品は定格 48Vdc、0.375A です。外部電源を使用する場合は、LPS 出力、定格 48V、最小 0.375A と表示された電源装置を使用してください。

ロシアの法令準拠

以下の Gost に準拠しています。

ニュージーランドテレパーミット

Polycom CX500 VoIP Telephone PTC 220/10/047

Polycom CX600 VoIP Telephone PTC 220/10/048

Polycom CX3000 VoIP Telephone PTC 220/10/049

PTC の一般的な警告

端末装置のあらゆる品目に対するテレパーミットの承認は、この品目がそのネットワークに接続するための最低条件に従っていることをテレコムが承諾したことのみを示します。これはテレコムが製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を与えるものでもありません。上記に従い、これは、ある品目が異なるタイプまたはモデルのテレパーミット済み装置の異なる品目とともにあらゆる場合にも正常に動作することを保証するものではなく、いかなる製品がテレコムのネットワークサービスのすべてと互換することを暗示しているものでもありません。